

2024年1月9日
損害保険ジャパン株式会社

福島学院大学と「The Action!～SDGs カードゲーム～」を開催しました

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：白川 儀一、以下「損保ジャパン」）は、福島学院大学と損保ジャパンオリジナルコンテンツの「The Action!～SDGs カードゲーム～」を開催しました。

1. 背景

「The Action!～SDGs カードゲーム～」は、実社会を擬したゲーム形式でSDGsの達成による社会変革を体感し、SDGsの理解を深め行動につなげていくことを目的とした損保ジャパンオリジナルコンテンツです。損保ジャパンは、地域住民の皆さまがSDGsを身近に感じていただける機会のある場として、各地域に当コンテンツを用いたワークショップを展開しております。

今般、福島学院大学地域マネジメント学科1年生の必修科目「地域連携演習1」の授業の一環として『The Action!～SDGs カードゲーム～』を実施しました。

2. 概要

- ・開催日 : 2023年12月18日（月）
- ・開催場所 : 福島学院大学 宮代キャンパス のぎく館
- ・参加者 : 福島学院大学 マネジメント学部 地域マネジメント学科 1年生39名
損保ジャパン 福島支社
- ・実施内容 : 「The Action!～SDGs カードゲーム～」

3. 当日の様子

参加者は仮想の町「ガクインタウン」の住人となり、3人1組のチームで協力し合いながら、2030年の「ガクインタウン」が持続可能な地域社会になるための取組みを進めていきました。参加者は、カードゲームを通じてコミュニケーションを取りながら、SDGsへの理解を深めました。加えて、地域課題に対する提案型の解決手法を学ぶワークショップも行い、損害保険への理解も深めました。参加した学生からは、「地域とSDGsの関係性を深く知ることができた」「SDGsは他者との繋がりだと感じた」「SDGsが世界にもたらす影響についてわかった」などの感想をもらいました。



<福島学院大学 情報ビジネス学科長 木村 信綱 教授のコメント>

地域マネジメント学科では「福島ならではの学び」を掲げ、地域課題と向き合うことのできる学生を育成しています。今回の授業では、持続可能な社会の実現と地域課題の関係性について、学生たちに気づきを得てほしいという狙いがありました。ゲームの中では「自分たちのチームの達成目標」に執着する学生がほとんどで、残念ながら社会課題を解決することができませんでした。この体験を通じて、自身が所属する組織や地域が抱える目先の課題と社会全体の課題の関係性に気づいた学生が多くいたことは一番の収穫でした。また、損保ジャパン福島支店のみなさんが学生たちと丁寧にコミュニケーションを取り、助言をいただきながら進められたこともあり、SDGs について理解を深めることができました。

また、私自身の SDGs 宣言を以下の通りとします。

「SDGs というキーワードが一人歩きし『聞いたことはあるけど詳しくは説明できない』という人が増えているように感じます。教育に携わる一人として、学生はもちろん地域住民に対して SDGs を理解する機会を提供し、実践を支えて行きたいと考えています。」

4. 今後

損保ジャパンは、「“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」というSOMPOのパーパス実現に向けて、ブランドスローガン「Innovation for Wellbeing」を具現化する取組みを通じてサステナブルな社会の実現に貢献していきます。今後も市民社会や企業をつなぐプラットフォームとして、その地域に根差しながら、SDGsの普及活動を進めてまいります。

以上



すべての人のしあわせと、サステナブルな未来をつくるイノベーションを。